

私たち BRJ は、 人と街に感謝される未来の公共交通を創る 次世代モビリティカンパニーです。

安全で新しい交通手段の提供と、
地域ごとに最適化した交通オペレーションを提供していきます。

代表メッセージ

私たちは「人と街に“感謝される”未来の公共交通を創る」というビジョンのもと、「安全・安心」「地域密着」を大切にしている会社です。

バスの赤字や減便、運転手不足、失われる生活の足、免許を返納したら生活が立ち行かない、このような「待ったなし」「手後れ寸前」の課題に本気で向き合い、進化し続ける次世代モビリティ技術を活用してその街と人に最適な運行プログラムを提供していきます。



代表取締役社長 宮内 秀明

思いやり、誠実、素直、謙虚、感謝、利他の心、こういった無形価値を根っこに置きながら、「共感」や「信頼」を経営の原資として社会に貢献できる会社作りをすることが私たちの夢であり生きがいです。
私たちは、新しいモビリティ車両の提供のみならず、安全な導入や運営をワンパッケージで提供させていただいており、特に一緒にしたいのは自治体様です。課題を抱える自治体様との連携を通じて、本当の意味での「道徳と経済の両立」を成したいと強く願っています。

その地のリーダーである自治体様や、その地で50年、80年生きご商売等をされてきた方々と信頼関係を構築し、一緒になって「未来」を創っていきたい、そのためには「採算性」も非常に重要な観点であり、私たちが開発した「小規模でも黒字化できる次世代モビリティのプログラム」を本気で悩んでいる街の方々に提供し、一緒に作り上げ、一緒に喜びを感じたい、そんな会社で在り続けることを皆様にお約束し、ご挨拶と代えさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

感謝

会社概要

BRJ 株式会社

代表者 代表取締役社長 宮内 秀明

所在地 東京都港区北青山1-2-3 青山ビル12F

設立 2020年12月

企業HP <https://www.brj.jp>



BRJ の理念

VISION 人と街に感謝される未来の公共交通を創る

MISSION 全ての人の日常移動に対して
安全安心で快適な移動方法を提供し続ける

事業内容

地域交通ソリューション事業

次世代モビリティシェアリングサービスの運営で培ったノウハウをもとに、社会実験等を通して安全かつ最適な地域交通の運営モデルを構築します。

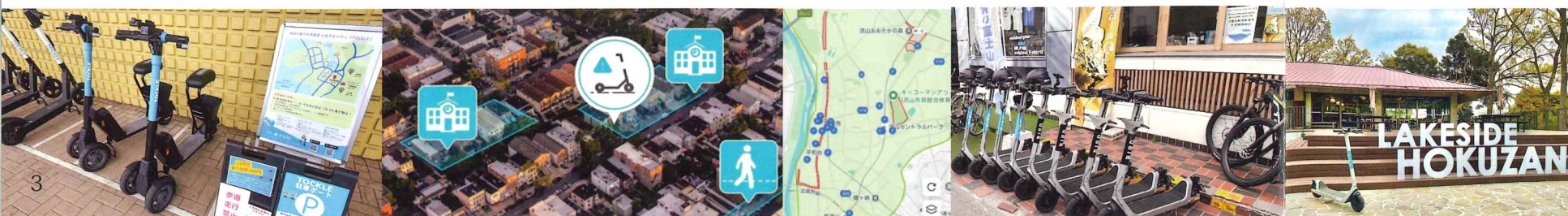
シェアリング事業

地域特性やニーズに合わせて、2つのブランドのシェアリングサービスを提供しています。



レンタル事業

観光地のアクティビティ、工場や公園など広大な敷地内の移動手段、デリバリーの配送車両などの用途に活用できるレンタルプランを提供しています。



未来の公共交通を創る

バスの減便・廃止等により全国に広がる交通空白。観光客が自由に移動できないことによる滞在時間・消費額の減少や交通弱者、日常移動が困難、社会的孤立などもたらす影響は様々です。そのような課題を抱える自治体の特性に合わせて次世代モビリティ導入の社会実験を行い、安全性・受容性・利便性・持続性を検証したうえで社会実装を目指しています。自治体、地元へ根ざす事業者の皆様とともに一体となって創り上げます。

多くの自治体にご導入いただいています

次世代モビリティの
安全な街への導入

街と協働し3年以内に
「黒字化」の達成

既存交通インフラの
補完手段確立

最適モデル (利益を街に再循環できる仕組み - 地域創生のエコシステムを創出)

地域特性
地元交通連携



地域の皆さま・協働運営
協業先：地域に根ざす事業パートナー



車両の多様性・
テクノロジー・目利き力



安全・安心へのこだわり

地域のモデル
導入事例



流山市 (千葉県)



郡山市 (福島県)



勝浦市 (千葉県)

多様なモビリティと安全性

Community Safety Zone (ジオフェンシング機能)

特定エリアに入ると車両が自動的にストップする安全システムを国内で初めて公道実装



立川市の事例



ノーライドゾーン

子供のいる公園内

歩行者専用道路

駅前

飲み屋街

繁華街

テクノロジーで走行制御された安全性の高い次世代モビリティです。

16歳以上であれば免許不要で乗ることができるマイクロモビリティには、ジオフェンシング機能を実装。特定のエリアに侵入するとストップする(アクセル動作が利かない)機能により事故の未然防止に努めています。



二輪

三輪

自動運転バス

免許不要
特化

免許不要
特化

最適な車両+安全な導入・運営をワンパッケージで提供

自治体との取り組み

街と協働し3年以内に「黒字化」の達成に向けて日本各地で取り組みを進めています。

移動課題の特定・明確化→解決手段の特定→次世代モビリティの試験的導入(期間・エリア・台数限定)→利用実態の分析による効果検証の4ステップで社会実装を目的としたモデル検証である社会実験を実施。社会実験や試乗会など地域の課題に合わせたアプローチを行います。

導入事例

千葉県流山市

導入数：100台



導入した理由・目的
バス減便に伴う二次交通対策・回遊性向上

使われている用途
通勤、交通不便エリアの移動手段

特徴
・交通不便エリアから展開
・駅前に特ポートを設置
・24時間500円プランで長く借りることができる

佐賀県佐賀市

導入数：20台



導入した理由・目的
佐賀アリーナ周辺の二次交通対策・回遊性向上

使われている用途
佐賀駅から佐賀アリーナ周辺の移動手段

特徴
・交通不便エリアから展開
・特定エリアの移動課題を集中的に対策
・体験試乗会と社会実験を経て、慎重に街へ展開